

2021年2月26日

世界初となるMSCI気候パリ協定準拠インデックスファンドへの投資

～パリ協定に整合した投資を通じて気候変動によるリスク抑制と収益機会獲得を実現～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、気候変動によるリスク抑制と収益機会の獲得を目的として、「MSCI ACWI Climate Paris Aligned Index(MSCI 気候パリ協定準拠インデックス)」に連動する投資信託を運用会社と共同で開発し、200億円の投資を実施したことをお知らせします。なお本インデックスを参照した金融商品の組成・投資は、世界初の事例となります。

今般採用した MSCI 気候パリ協定準拠インデックスは、投資家向けの資産運用意思決定支援ツール・サービスを提供する世界的リーディングプロバイダーである MSCI 社が開発した株価指数です。親指数である時価総額加重型の「MSCI ACWI(全世界株式指数)」をベースとした上で、気候変動による移行リスクと物理的リスクをともに削減しつつ、一方で低炭素経済への移行に伴って生じる市場機会への投資割合を拡大させ、全体としてパリ協定の目標(気温上昇を 1.5 度未満に抑える)に整合したポートフォリオを構築します。

具体的には、加重平均炭素強度¹の 50%以上削減(親指数対比)、炭素削減目標を有する企業への投資割合増加、化石燃料関連の保有割合減少などを通じた移行リスクの削減や、MSCI 社の Climate Value-at-Risk²を使用した物理的リスクの 50%以上削減(親指数対比)を実施するとともに、クリーンテクノロジー関連企業への投資割合増加などを通じてグリーン関連の投資を増加させます。

なお本インデックスは、EU ベンチマーク規則³において、低炭素経済に向けた投資を促進することを目的として定められた気候ベンチマークのうち、より厳格な要件が課せられている「EU Paris Aligned Benchmark」の基準を充足したインデックスとなります。

当社は、日本全国の約 1,000 万名のお客さまからお預かりした約 36 兆円の資金を幅広い資産で運用する「ユニバーサル・オーナー」として、「QOL向上」、「地方創生・地域活性化」、「気候変動の緩和」を重点テーマに ESG 投資を推進しています。今後も引き続き、運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG 投資に積極的に取り組んでいきます。

<本ファンドの概要>

ファンド名	AMOne・MSCI・ACWI・気候パリ協定準拠インデックスファンド(適格機関投資家限定)
委託会社	アセットマネジメント One 株式会社
ベンチマーク	MSCI ACWI Climate Paris Aligned Index(円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし)
ベンチマークの概要	MSCI 社の ESG リサーチによる様々な気候関連指標を用いて最適化手法によりウェイト付を行い、気候変動やパリ協定の要件に沿った低炭素経済への移行に伴うリスクを抑制、市場機会を獲得することを目指す指数。なお、この指数には TCFD の推奨事項が組み込まれており、EU Paris-aligned Benchmark の最低基準を充足するように設計されている。

¹ ポートフォリオ内各企業の温室効果ガス売上原単位を、各企業の保有割合で加重平均した数値。TCFD が投資家に対して推奨する指標。

² 気候変動によって生じるコスト・利益の現在価値を推計し、企業価値に与える影響を算出したもの。

³ 運営体制の透明性・信頼性や利益相反の排除などを含め、金融商品で利用するベンチマーク指数が満たすべき要件を定めたもの。